

鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッション総合的アドバイザー業務の契約締結について

令和5年6月12日
空 港 港 湾 課

令和5年5月9日に開催した鳥取県公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッション総合的アドバイザー業務）において、最優秀提案者を選定し、その最優秀提案者と令和5年5月26日に標記業務の契約を締結しましたので報告します。

1 業務概要

鳥取砂丘コナン空港は、平成30年7月に公共施設等運営権（コンセッション）制度に基づく民間事業者による空港運営に移行し、現在の運営権者は鳥取空港ビル(株)である。現運営権者による本空港の事業期間は令和9年3月31日までであるが、本県は令和9年4月以降も引き続きコンセッション制度によって本空港の運営等を民間事業者に発注（委託）することを予定している。

本業務は、第2期（次期）コンセッションとして、令和9年4月以降の特定運営事業等の実施に当たって、適正かつ確実に推進するためのマーケットサウンディング、実施方針及び民間事業者の公募に関する各種資料の作成・公表、優先交渉権者の選定、実施契約書の締結、事業継承等に係る一連の支援を実施するものである。

2 契約概要

- （1）業 務 名 鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッション総合的アドバイザー業務
- （2）履 行 期 間 令和5年5月26日から令和9年3月31日まで（債務負担行為設定済）
- （3）契 約 金 額 142,533,600円（税込）
- （4）契約の相手方 有限責任あずさ監査法人 理事長 山田 裕行

3 鳥取県公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会（鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッション総合的アドバイザー業務）の審査結果

- （1）委 員

谷本 圭志	（鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻教授）委員長
岡本 陽子	（公募委員、ホテルモナーク鳥取事業部業務推進室営業課）
連 宜萍	（公立鳥取環境大学経営学部准教授）
島田 真紀子	（鳥取県総務部参事監兼デジタル・行財政改革局行財政改革推進課長）
藤本 直幸	（鳥取県県土整備部空港港湾課長）
- （2）選定方法 評価項目ごとに10点満点で評価を行い、その評価点にそれぞれ係数を乗じた合計点で最も高い得点を獲得した者を、最優秀提案者として選定する。（500点満点）
- （3）評価項目 履行能力、実施体制、理解度、提案力、計画力、見積金額
- （4）応募者数 3者（うち1者辞退）
- （5）審査結果

順位	点数（500点満点）
最優秀提案者	420.5点
2	405.5点

- （6）参 考 審査会は3回開催し、1回目（令和5年3月10日開催）に調達公告（案）や評価方法の審査、2回目（同年4月28日開催）に企画提案内容のプレゼンテーション・ヒアリング、3回目（同年5月9日開催）に最優秀提案者を選定した。

4 今後の予定

本業務を着実に進め、令和9年4月以降も引き続きコンセッション制度に基づく本空港の運営等を民間事業者が発注（委託）できるよう取り組んでいく。